



天守台跡階段 2009

天守台への昇降のために設置された木製の階段。天守台は2段構成で、高さ約10m。北西隅の一面に高さ約100尺の天守が建っていました。その東側の控天守用石積は昭和23年の地震で崩れたまま残っています。

舎人門 1952
舎人門は福井城の外堀に設けられた門の一つ。江戸時代の終り頃の様子を描いた福井城下絵図などにみられます。清兵衛町見附御門、江戸町口御門、御泉水裏御門などとも呼ばれていました。



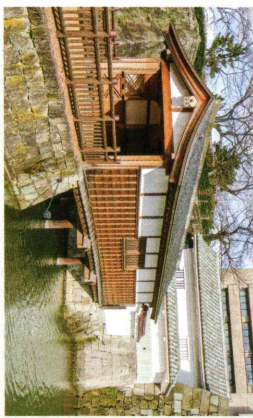
御泉水屋敷 1980

福井城の北東にある藩主の別荘。大きな池泉を臨んで数奇屋風の書院や清康などの御亭があり、町中にある。現在は養浩館と呼ばれています。



福の井 2017

お城には籠城に備えた井戸がつきもの。この福の井もそのひとつで、秀康の築城当初からあったとみられます。福井の地名の由来とも言われています。

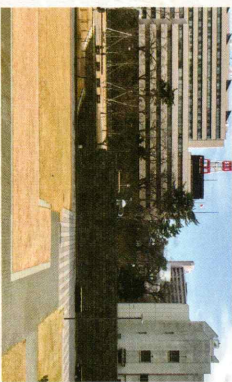


御廊下橋 2008

本丸と西二の丸をつなぐ屋根付きの橋。殿様が西三の丸にあった御座所から本丸へ登城する際に使われていました。江戸初期の絵図には「はね橋」とあり、屋根付の橋ではありませんでした。

中央公園整備 2018

現在の中央公園は、福井城の西二の丸・同三の丸があったところ。二の丸と三の丸を隔っていた堀や三の丸にあった御座所などが石列で表示され、堀の一部は堀切り広場として整備されています。



山里口御門 2018

本丸から西二の丸・三の丸へ通じる門。棟門と二階建ての櫓門からなる榊形門で、西二の丸の南側に山里があったことからこの名称がつけられています。天守下門とも呼ばれています。



瓦御門上石垣整備 2009

この石垣上には本丸の表正面にあつた瓦御門の南側の櫓部分が載っています。瓦御門は2階建て、1階は中央に門を開き、その上に横幅16間(28.8m)、奥行き4間(7.2m)の櫓が載る大きな門でした。